

東京修猷会

題字・松尾金蔵書 発行

修猷館同窓会東京支部

事務局

東京都新宿区四ツ谷3-9

光明堂ビル9階

富士総合法律事務所 内

☎03-353-4770



「山中村」
吉田 博 全木版画集より

■吉田 博(よしだひろし) 一八七六(明治9)年、久留米市に生まれる。一八八八(明治21)年、中学修猷館に入学。図画教師吉田嘉三郎に画才を認められ、養子となる。その後、京都の田村宗立に入門。次いで不同舎の門人、明治美術会会員となる。吉田は風景画家であり、素材となる風景を広く世界に求めた。一八九九(明治32)年、渡米。各地で大成功をおさめたのち、パリ万国博に出展。欧州、各国を歴訪。アメリカを中心に海外旅行は十数回に及ぶ。



「勢い水」となって

東京修猷会会長 松尾 金蔵

この夏、しばらくぶりの帰郷で、念願の祇園山笠を見ることになった。それは数ある思い出の行事のうちでも、私の一番のお郷里(くに)に自慢である。あの、つかい山笠(やま)の前後(まえうしろ)、肩棒にしがみついて担ぎ、勢い水を浴びてがらんぼ若衆の向う意気を称えて他郷のわっしょい・おみこしとは訳が違ふと、吹聴してきたものである。(もともと私自身は、あの山笠を担いだことはない。幼少年の時の写真で、同じ締め込み、はっぴ、鉢巻姿は勇ましいが、恐らく父の肩車か、

せいせい先走り程度だったのであろう。

七月十五日未明、一番太鼓、掛け声と共に、山笠は神木を廻り、大きな人波を作つて柳田神社を駆け抜けてゆく。台上がり(まへうしろ)が赤てつばうを振り、水がしぶきをあげる。

東京修猷会も、年々歳々新旧の修猷健児を加え、ほうはいとして、まさに追い山笠の勢いで、この会報紙が、その勢い水でありたい。皆さん共ども誘ひあつて、この山笠にどんな乗り込んで下さい。



祝 辞

修猷館同窓会会長 清澤又四郎

新年おめでとうございます。

新しい年を期して、東京修猷会が会報を発行されるとお聞きして喜びが倍増する感じが致します。

貴会総会に出席して驚きますことは、毎年立派な案が作成され、またいつかは職業別名簿を作られるなど、常に創意工夫がこらされて盛大な総会が開催されていることで、いつも深い感銘を受けている次第であります。

この度さらに会報が発行されますことは貴会の一層の発展の一大契機となることと誠に御同慶にたえません。



新しき年、新しき猷へ

東京修猷会「会報」創刊



「会報」の創刊に寄せて

修猷館高等学校校長 原岡 鐵二

「東京修猷会」の会報が誕生するにあたり在京の館友諸兄姉の皆様にご心からお祝いを申しあげるのであります。

就中、東京修猷会の母胎として、その基盤づくりに地道に永年にわたって、ご尽力をたまわりました二木会の皆様方に深甚の敬意と感謝の念を表するものです。

「君は君、僕は僕、されど仲善く」ということがありますが、それぞれの個性を発揮し主役性をもった館友のご活躍と「され



創刊を祝して

福岡市長 桑原 敬一

新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様には、さすがに新しい初春をお迎えのこととお喜び申しあげます。

さて、このたび、東京修猷会が会報を発行されたことを心からお祝い申しあげます。

本年は、福岡市が市制施行百周年を迎え、新たな第二世紀へ向けて第一歩を踏み出す年に当ります。この大きな節目に当たり、福岡はもとより九州の経

修猷館

同窓会

会長 清澤 又四郎
副会長 石村 貞雄
同 竹村 茂昭

〒814 福岡市早良区西新六二一十二
修猷館同窓会館
(092) 821-0663

近畿

修猷会

会長 陣内 伝之助
副会長 田尻 泰正
同 熊谷 尚之
幹事長 廣瀬 信夫

〒541 大阪市東区淡路町五一二三
(06) 203-1841

中京

修猷会

名誉会長 安河内隆介(T5卒)
会長 高木健太郎(S2卒)
副会長 中野 博(S9卒)
同 檜崎 眞純(S15卒)
同 小山 宏(S18卒)
幹事長 日根野 稔(S28卒)

〒468 名古屋市中区島田二丁目
三〇一 番地三一九〇一

'88 総会報告

事務局長 淵上貫之(S26卒)

昭和六十三年六月四日の土曜日、ホテルグランドパレスのダイニングルームにおいて、恒例の総会が開催されました。

集う館友OBと来賓を含めた総数四百七名。懐かしさと親しみの交差する雰囲気の中で、旧交を暖め、談笑にくつろぐ楽しいひと時となりました。

和気あいあいのうちに厳粛に、定刻より六十三年度総会が開かれ、館歌斉唱の次に、宮川副会長のリードで、他界されている恩師、同窓生への慰霊のための黙禱がなされ、そのあと松尾会長の挨拶と続きました。

恩師、来賓紹介、会計報告などの後、本部同窓会の竹村副会長の首頭で乾杯の音が会場一杯に響き渡りました。このあとは楽しい懇親会です。田端俊也氏作曲のバックミュージックが、会場に流れ、人気抜群の神田紅さんが、和服姿で美しく舞えば、

この立派な総会のすべてを準備し、献身的に取り組んで下さったのは、昭和三十七年度卒業の幹事学年の皆さんでした。委員長の小野寺夏生兄、そして同期の皆さん！ 本当に有難うございました。心から感謝しております。



'88 東京修猷会総会風景

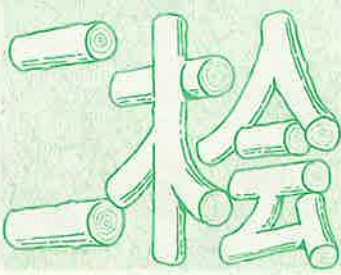
東京修猷会会員相互の研鑽と交遊の場でもある修猷二木会

二木会も昭和六十三年十月十三日で第三六四回を開催するまでになりました。

この一年の講師と講演内容を報告いたします。

一 本会は、先輩と後輩の知性と友情を交流蓄積する場でもあり、会員諸兄姉の多数ご参加をお願いします。

二 二木会通知状は、会費納入者のみ送付しており、ぜひ参加したいと思われる方は、事務局(電03-3571-8481)までお問合せ下さい。



二木会担当副幹事長 中尾大三(S30卒)

十一月 久米宏之 S23年卒 (経済評論家)

「これからの経済と経営」

氏の緻密な経済分析と鋭い切り口、深い洞察力には定評がある。日本が経済大国になり得たのは歴史、社会、文化、宗教と無関係ではない。今や世界の中心の日本を自覚し、企業経営には人間尊重の姿勢が大切と説かれる。

大西 勇

一月 大島隆夫 S13年卒 (元大蔵省・税理士)

「税制改正を語る」

今日税制の七割強をしめる直接税は、重苦しくて脱税が多いことから、所得がラスバリのサラリーマンの不満が強い。所得水準が高まり、平準化した今日、納め易い間接税を導入して、社会維持費の一部をみんなで広く薄く分担する新しい税制が必要である。

大島隆夫

二月 古川公毅 S36年卒 (東京港湾局・副参事)

「ウオーターフロントの開発の動向」

日本の高度成長はアメリカの模倣によると、終始言われ、独特の創造を生み出さなければならぬ。一流国として残るには創造力を増強する科学教育(文化もだが)がいかに大切か、基盤となる小学校の理科授業の乏しさは創造性を生むはずがない、と日ごろ思っていた。ヨーロッパのゆとりある授業を拝見し、日本の子供たちの夢のなさをいっそう知らされた。

田端千弥子

三月 笠 耐 S27年卒 (上智大学教授)

「科学教育の国際的動向」

都心に近い臨海部の広大な埋立地への関心が高まっている。東京が進めている国際化、情報化に対応した臨海部副都心のまちづくり計画を中心に、ウォーターフロントの開発をめぐる最近の動向について報告した。

井島 稔

四月 榎田純也 S27年卒 (市立川崎病院・検査部長)

「病気を顕微鏡で見れば」

一般的には、病人は医者に総てお任せで、肉体が病魔と戦っている部分を知ろうとしないが、光學で四百倍、電子で六千倍でガン、エイズが正常な組織を分解して行くのを見たとき、いっ病原因菌が入り込むかも知れない他人事ではない」と、この九十分間は少なくとも思った。

山崎広明

七月 興 隆 S30年卒 (京都大学文学部教授)

「パリの中国人」

中国の六朝文学の第一人者でその著書が中国でも翻訳されている氏が、パリ大学留学の経験をもとに、フランス人の中の中国人、外国に出てきた中国人社会の価値観について、興味深いエピソードを中心に語った。

伊藤正孝

九月 広松 猛 S37年卒 (竹中工務店・研究所)

「東京ドーム設計エピソード」

竹中工務店に勤務し、工学博士である広松猛氏が、東京ドーム建設における構造的振動について講演してくれた。私たちの日ごろあまり関与しない分野であり、興味深く、また裏方としてなかなか苦労しているものだなと感じ入った。氏のますます活躍を期待している。

中西保年

十月 佐藤 守 S33年卒 (航空自衛隊 航空幕僚監部 人事教育部教育課長)

「国際情勢の見方―軍事的見地から」

世界は平和なのか？という問いかけにはじまる講演は、国際情勢を見る場合、北極を中心とするポーラ図法で考える必要があることなど、「平和」な日本に暮らす我々の盲点を卓抜なユーモアを交えて衝くものであった。

實 隆夫

東京修猷二木会を顧みて

その小史と意義

向野元生(T9卒)

東京修猷歴代役員

S29 初代世話役 安川第五郎 M39卒

S30 世話役 徳永真砥

S31 世話役 吉鹿善郎

S32 世話役 佐藤与助

S33 世話役 太田清蔵

S34 世話役 太田清蔵

S35 世話役 秋山雄之助

S36 世話役 高橋量之助

S37 世話役 倉田興人

S38 世話役 松尾金蔵

S39 世話役 松尾金蔵

S40 世話役 松尾金蔵

S41 世話役 松尾金蔵

S42 世話役 松尾金蔵

S43 世話役 松尾金蔵

S44 世話役 松尾金蔵

S45 世話役 松尾金蔵

S46 世話役 松尾金蔵

S47 世話役 松尾金蔵

S48 世話役 松尾金蔵

S49 世話役 松尾金蔵

S50 世話役 松尾金蔵

S51 世話役 松尾金蔵

S52 世話役 松尾金蔵

S53 世話役 松尾金蔵

S54 世話役 松尾金蔵

S55 世話役 松尾金蔵

S56 世話役 松尾金蔵



学年だより

【昭和三十九年卒】
一、昭和六十三年の同期会は、三月五日(土)に行った。出席者三十名。

二、今年は、二月二十五日(土)十六時より、赤坂のサントリビル地下一階の「ローヤルクラブ」で開催します。来年は東京修猷会総会の幹事学年であり、その打合せも行いますので、万障お繰合せの上参加下さい。

(久保田康史)

【昭和四十年卒】

明けまして御目出度う。昭和40年卒のみんな元気や? 社会の第一線で元気に活躍しとるちやろ。63年はヨット(鶴木幹事)や銀座で食事(穴井幹事)の同窓会を開き歓談している。皆の消息を知りたい、ぜひ連絡を!

(田中俊雄)

【昭和四十三年卒】

修猷卒業後20年がたち、40才まで後一、二年、皆それぞれ第一線の責任ある立場となり多忙の身、あまりお手伝いできません

んが、会報の創刊、心より喜んでおります。また、そろそろ飲屋でもやりたいですね。

(小森秀人)

【昭和四十七年卒】

転勤や転居が多く、正確な名簿づくりに苦労しております。ご自身はもちろんのこと、消息が判る同期生についてもご一報下さい。連絡先(会社)〇三三五七四一八九六四(自宅)〇三二七七八一七八七〇

(福嶋 治)

【昭和四十八年卒】

私にとって同窓会とは、精神療法です。それぞれ違う分野の人たちの話を聞いていると自分が狭い価値観に囚われている事に気がきます。そしていつもサイフと足取りが、少し軽くなって帰途につきます。

(田中 都)

【昭和四十九年卒】

我々の年度は、東京修猷会主催の全体同窓会では、最悪の出席率となっております。男性は、各勤務先で仕事優先の毎日を送り、女性も小さな子供を中心とした生活を送り、なかなか本人自身の時間を作れないようで、この世代として仕方ない事かもしれません。しかしながら、64年は卒業後ちょうど十五年になり、この機会に是非一度、「お久振会」を開きたいとも思っております。後日、声をかけますので

で、万難を排しご参集の程、お願いいたします。

(山内信尚)

【昭和五十年卒】

二人の娘に膝を占領されて、ついついニンマリしてしまう。そんな平凡なマイホームパパになつてしまいました。東京の50年卒の同窓会をいつかと思いつながら、何もできないままになつていて、申し訳ありません。名簿だけは、常に新しいものにして定期的に配布できればと思つてますので、住所変更等あれば是非御連絡下さい。なお、女房も修猷館50年卒ですので、連絡は(自宅)の方にとつていただいて結構です。(自宅電話番号〇三三七二一九五三六)

(野中哲昌・公子)

【昭和五十一年卒】

かたまり会東京支部の名簿を現在作成中です。千一〇〇千代田区有楽町一〇二一東宝(株)事業部 油田」までに住所をお知らせ下さい。よろしくお願い致します。

(油田 哲)

【昭和五十二年卒】

定例的に集いを開催したいと思いつながら、幹事の不徳のいたすところで現在未達の状態。女性はもちろん男性も殆んどが、嫁さんをもらい可愛い二世もでき、生活的にも安定されてきた頃でしょうか? やっぱ、皆

んなに会いたいですね。「S52年卒の皆さん、お元気ですか?」

(真子浩明)

【昭和五十三年卒】

同級生の皆さん、お元気ですか。早いもので我々も30歳の大会に乗り出すとしています。世間のしみが相当しついついてきまして、まだまだ青春。どんだん同窓会をやつて、リフレッシュしましょう。

(新納康彦)

【昭和五十六年卒】

当学年の全体数 棲息地が正確に捕捉しできておりません。仲の良い連中が小規模で集つており、(時おり同期の結婚や初産の話が洩れ聞えてきます)仕事軌道にのり出して皆忙しいとは思いますが、年に一度くらいは集まって情報交換したいと思つております。

(松尾正俊)

【昭和五十七年卒】

卒業してはや六年強。みんな、どげんしとるかいな。東京勤務で上京して来たやつもおうし、相変わらず学生しとるやつもここにおるやい。頼むけん消息知らせせやい。〒151渋谷区本町六十一一七田中荘二の二

(岩崎裕一)

【昭和五十八年卒】

学年幹事が変わりました。新幹事は大浦公大と大島栄二の二人です。連絡先は九七〇一四八三四(大浦)です。就職その他で連絡先不明の人が多々いますので、友人の引越先を知ってる方は大浦まで御一報下さい。

【昭和五十九年卒】
(大浦公大)

修猷館を卒業して、早いもので、四年以上もたつてしまつた。この間、東京修猷会で様々な行事があつたが、あまり参加できなかった。これからは、もう一人の幹事の久持君と力を合わせて、同期を盛り上げていこうと思つている今日この頃である。

(古谷誠一郎)

【昭和六十年卒】

みなさんお元気ですか。我々の同期の東京修猷会員も一一六名を数え、増々皆さんに活動しております。今年も例年どうり東京修猷会総会の後、同期会を行います。日時 東京修猷会総会の日午後五時 集合場所 いつもの109の地下二階入口

(友枝城太郎)

【昭和六十一年卒】

私たちの活動と言えは6月の修猷会の二次会をする程度ではあります。もっと集まる機会を増やして、より一層の親睦を深めていきたいと思つています。早大ラグビーの前田君の応援もよろしく。

(山形 淳)

【昭和六十三年卒】

去る5月21日、上板橋に於て昭和63年卒のコンパを行いました。行きつけの飲み屋がまだ無く、店探しに苦労しましたが、男女合わせて十数名が集まり、各人の近況報告や、福岡を懐しむ話などで盛り上がりしました。

(森 敏浩)

東京修猷会会計報告

会計担当副幹事長 岡村 浩 (S35卒)

昨年六月より、お手伝いをさせて頂いておりました。諸先輩の御指導のもとに、なんとか勤めさせて頂いておりました。が、どうか今後共よろしく願ひ申し上げます。

まず、昭和六十二年決算報告をごらん下さい。これは、昨年の総会のときにご承認をいただいたものです。数年来の傾向通り、健全な財政状態にあり、資金も漸増を続けております。その後昭和六十三年東京修猷会総会の決算を行いました。総会実行委員会(昭和三十七年卒)の皆様は血のじむようなご努力のおかげで、上記の健全な状態が続けられる見通しです。実

昭和62年度会計報告修猷館同窓会東京支部

自62.4.1
至63.3.31

収 入		支 出	
前年度より繰越	6,964,723	事務関係経費	459,647
年会費(668名)	2,003,000	郵便振替料	34,870
(1名のみ2000高)		通信費	394,517
寄 付 金	511,300	事務用品	30,260
同窓職別名簿収入	220,402	会 議 費	270,040
預 金 利 息	1,800	慶 弔 費	55,000
中国ファンド配当金	204,537	二 木 会 補 助	618,343
総 会 剩 余 金	764,288	コンピューターリース	404,600
仮入金返戻し	500,000	63年度総会仮払金	500,000
合 計	11,170,050	後期繰越金	8,862,420
		合 計	11,170,050

32ページすべて
ビジネスチャンス

Business & Technology

日刊工業新聞

取締役社長 藤 吉 敏 生 (S26)

〒102 東京都千代田区九段北1丁目8番10号

電話03(222)7111

東京在住同窓弁護士有志

- (弁) 吉田 士郎 (S20(5)卒)
- (弁) 三上 貫之 (S26卒)
- (弁) 桑原 収 (S29卒)
- (弁) 西嶋 勝彦 (S34卒)
- (弁) 吉村 茂樹 (S34卒)
- (弁) 安田 彪 (S36卒)
- (弁) 高木 佳子 (S38卒)
- (弁) 久保田 康史 (S39卒)
- (弁) 西 島 正 (S42卒)
- (弁) 椿 康雄 (S47卒)
- (弁) 山下 淳 (S51卒)



博多風景

寺田 竹雄 (丁15卒)

最近新築された福岡市庁舎に福岡らしい風景を五十号に描いて欲しいと注文を受けたので先達取材に出かけた。福岡らしい風景となると大濠公園の池は目下大がかりな清掃中で囲いがあつて見られないし、博多港、ここは学生の頃ここから宮浦まで日に2回ボンボン蒸気船が通っていた思い出の場所、し

かし今はもうすっかり変わって沖繩行の大きな汽船が出港するところだった。兵隊時代にきたわれたお城跡の蓮池もスケッチして見た。しかし結局那珂川が一番誰にもわかりやすいだろうと水上公園から橋と繁華街を入れて描くことにした。今は公園のそばに高層ビルが二つ並んで立

民族生産性と人種差別

高岩 和雄 (S12卒)

十数年も海外をうろついてプラント建設をやっていると、その土地に馴染んでみるとその住民の生産性が肌でわかるようになる。ナイジェリア人は55%、インドネシア人は50%、サウジ人は40%かな、とにかくお祈りの時間が長い。イン・パキは団体になると働かない。そこで彼等を訓練してみた。キャ

バンカラとは

神田 紅 (S46卒)

「紅さん、もうバンカラなんて言葉、ボクたちにはありませんよ」と言う。ビックリしてじやあ一体何がカッコイイのかと尋ねると「やつぱ、いいマンシヨ

ンプに入れてタラフク食べさせみた。たちまち50%の生産性が60から65%に上る。民族によって生産性がちがうことを民族生産性という言葉で表現する。この秋北京で開かれた圧力容器の国際会議でこの言葉を使って論文を発表することにした。早速中国の委員からコメントが来た。



「今度の発表論文の中で一番いやな言葉があなたの論文の中にある。この言葉は使わないでほしい」人種によって生産性に差があるのは事実であるが、そ

れをあらからさずに言うのは人種差別に該当するという事らしい。ナイジェリアで「お前らの生産性は日本人の半分しかない」と言ったら、ゴリラのような体つきと顔をしたナイジェリア人が「何を言うか、青っころいチビの日本人が俺たち以上に働けるか」といって筋肉隆々たる腕で胸をはこらしげにたたいた。

ところで皆様ご承知のように「円高」の昨今、日本を訪れる外国人にとっては厳しい現状ですが、それは私たちの通訳ガイド業界も同じこと。でも外国人との出会いを大切に、一人でも多くの人々に、日本を理解し、楽しんでほしいと思ってい

る今日この頃です。思い出すこと... 中川 美穂 (S61卒) それはど親しくなかった人でも、卒業してしばらく経つと、修猷出身というだけで笑みがこぼれ、思い出話に花が咲きます。とくに三年生のときが創立二百周年でしたので、例年以上に手間と時間をかけた文化祭や運動会など... 思い出すだけでも胸が熱くなります。

★修猷時代の友人の中でも、シリーズ到来にあたって一番注目されているのが、早大ラグビー部の前田夏洋君でしょう。彼は私たちの自慢であり、愛校心を

▼ひとところ全国ではやった「地あげ」の波も福岡ではどうにかおさまり、三月十九日から開催される「アジア太平洋博 福岡'89」の準備がすすんでいます。百道と地行の海岸百五十八ヘクタールを埋立て造成した「シーサイドももち」地区には、東洋一の威容を誇るシンボルタワー展望塔が八分通り出来、姉妹都市オークランド市(アメリカ)をはじめ、太平洋各地からの出展申し込みが殺到しているとのことです。前売券も発売されており、真鍋純哲君(市民局長・S27卒)、河野安雄君(福祉部

長・S27年卒)にたのめば、便宜をはかって貰えそうです。▼西鉄ライオンズが消えて以来平和台球場に球団を誘致する運動が続いていましたが、突然、

ダイエー・ホークスが福岡を本拠地とすることになり、地元にも多いライオンズ・ファンとの競合が激しくなりそうです。

▼一昨秋、昭和二十七年卒の同窓会が、博多ステーションプラ

ちかごろ新人類の間では「バンカラ」という言葉が死語になりかけているらしい。私は感動したのだが、薬師丸ひろ子主演の映画「ダウンタウンヒーローズ」がヒットしなかったのも、どうもその辺に原因があるようだ。旧制中学を舞台にした青春映画で、新人類の役者たちが演ずる「バンカラ」は、けつこうサマになっていったのだ...

先日、私が中退した早稲田大

学の内誌で、現役早大生と対談するチャンスがあった。修猷館高校時代憧れていたグタバキスタイルで、大学へ通っていた話をすると彼は声をそろえて

「紅さん、もうバンカラなんて言葉、ボクたちにはありませんよ」と言う。ビックリしてじやあ一体何がカッコイイのかと尋ねると「やつぱ、いいマンシヨ

▼ひとところ全国ではやった「地あげ」の波も福岡ではどうにかおさまり、三月十九日から開催される「アジア太平洋博 福岡'89」の準備がすすんでいます。百道と地行の海岸百五十八ヘクタールを埋立て造成した「シーサイドももち」地区には、東洋一の威容を誇るシンボルタワー展望塔が八分通り出来、姉妹都市オークランド市(アメリカ)をはじめ、太平洋各地からの出展申し込みが殺到しているとのことです。前売券も発売されており、真鍋純哲君(市民局長・S27卒)、河野安雄君(福祉部

長・S27年卒)にたのめば、便宜をはかって貰えそうです。▼西鉄ライオンズが消えて以来平和台球場に球団を誘致する運動が続いていましたが、突然、

ダイエー・ホークスが福岡を本拠地とすることになり、地元にも多いライオンズ・ファンとの競合が激しくなりそうです。

▼一昨秋、昭和二十七年卒の同窓会が、博多ステーションプラ

ちかごろ新人類の間では「バンカラ」という言葉が死語になりかけているらしい。私は感動したのだが、薬師丸ひろ子主演の映画「ダウンタウンヒーローズ」がヒットしなかったのも、どうもその辺に原因があるようだ。旧制中学を舞台にした青春映画で、新人類の役者たちが演ずる「バンカラ」は、けつこうサマになっていったのだ...

先日、私が中退した早稲田大

学の内誌で、現役早大生と対談するチャンスがあった。修猷館高校時代憧れていたグタバキスタイルで、大学へ通っていた話をすると彼は声をそろえて

「紅さん、もうバンカラなんて言葉、ボクたちにはありませんよ」と言う。ビックリしてじやあ一体何がカッコイイのかと尋ねると「やつぱ、いいマンシヨ

九州郷土料理 有薫酒蔵 YUKUN SAKAGURA 銀座の丁度 新橋店 東京都中央区銀座五丁目五番五号 電話 03(571)6280

八重洲店 東京都中央区八重洲四丁目五番五号 電話 03(571)6280 長末 梢 千104 東京都中央区銀座5-4-5(萬寿園ビル3階) 電話 03(571)6280

楽しいSnackには生の音楽と歌! カフェテアトル 2つの部屋には 洒落た芝居! 一度いらしてみませんか 楽しいSnackとカフェテアトル 2つの部屋 千171 東京都豊島区西池袋3-30-10 ライオンビル地下 電話 03(984)3917



創刊によせて

東京修猷会副会長
宮川 一二

このたび、念願の東京修猷会会報が創刊になりました。これは、まことに慶賀のいたりであります。

しかし、ボランティアにて六ページの会報を毎年発行することの辛苦は、皆さまよくご承知のことと思います。担当及び事務局に対し、全

会員の物心両面にわたる鞏固で温かい御協力を願ひ致します。

親しみと誇りある内容とを期待したいのですが、そのためには、母校修猷館のニュースや二木会の講演内容、慶弔記事、その他広範囲からの御意見、話題等を沢山お寄せいただきたいと思うのです。会報発行の目的の一つは、三十数年間も会を支え、年会費も納入して戴きながら、総会に出席することが出来ない先輩各位に、同窓会の姿をお知らせすると共に、東京と近傍在住の方々との温かい繋がりを

を張り巡らすことを念願したものであります。創刊号の基金は、約六百名の会員が永年にわたって拠出された年会費、寄付金によるもので、全会員約四千八百名へ無料配布致しますが、このような状態で継続発行すると資金的に行き詰ることは必然であります。これを機として、年会費三千円を会報存続のために、同封の振込用紙で払込み下さるよう、以上創刊にあたり、目的を明らかにし、かつ、ご協力をお願い致します次第であります。

ラインに館歌は流れる

デュッセルドルフ修猷会



ライン河に向って館歌斉唱

の先輩がおられ、このお三方を中心としてデュッセルドルフ修猷会が開かれていきます。いつも温顔を絶やさない昭和十六年卒の法坂勇助さん(ドイツ丸紅)、日本人会の嘱託医を引き受けて、みんなに頼りにされている昭和二十年(四卒)の石田嘉一先生、新日鉄の欧州事務所長で現地日本商工会議所会頭もされた昭和二十二年卒の津田博彦さんがその方です。私は昭和三十八年より三度デュッセルドルフに駐在しました。同期の石田君(元住友金属工業欧州事務所長)がデュッセルドルフに出張の折、日航支店長であった森久協一氏(昭和三十一年卒)の送別会に居合わせ、ライン河畔で館歌を唄って来たのがこの写真です。



市庁舎

西独、ルール工業地帯の中心にあるデュッセルドルフ市は、人口八十万人のプチパリとも言われる瀟洒な街ですが、この街の日本人会には約五千名の会員が登録されています。実際にはもっと大勢の同胞が活躍していて、ドイツ人に言わせるとヤパニッシュ・コローニイと言われるほどになっています。

同市には約三十年在住の三人

デュッセルドルフ修猷会は、



デュッセルドルフ修猷会
Dr. Yoshikazu Ishida
Ahorn str. 9
4000 Düseeldorf
West Germany

(日本航空
昭和31卒
森久協一)

睦の涯に独り

「西川一三氏の壮挙」

テレビの番組を観終って、すぐにその主人公に電話をかけた。生を聞く、そんな機会はありません。不思議な運命の糸へのつながりは私にその体験を与えてくれました。幾千年民族興亡の歴史を秘めた中国西域の悠久の天地の中で苛酷な自然条件と闘い、6000キロの冒険旅行を敢行した快男がテレビで紹介されましたが、その主人公が吾等が同窓生、修猷健児だったからです。

旧年、十一月からTBS系全国ネットワーク番組で四回に亘り「新世界紀行、スゴイ日本人がいた」遙かなる秘境西域6000キロ大探検「西川一三」の足跡をたどる「西川一三氏」がその人です。氏は昭和十一年修猷館中学卒、満鉄を経て興亜義塾に入り、モンゴル、中国、ロシア語を学び、モンゴル人になりきる訓練を受け、時の首相東條英機より、中国西域の諸民族を友とし調査する為現地に永住せよと内命を受け、中国奥地への調査に出発したのです。ラマ僧の修業を積み、三年の月日を費し、チベット、ラフサに至り、更にインドへ、ヒマラヤを越えること七度、我々の想像を絶する苦難の旅を続けました。

西歴399年、インドを旅した東晋の僧法顕の旅行記に「上」に飛鳥なく、下に走獸なしとある。死の枯骨をもつて標識となすのみ。この世界が今も現存する秘境に、岩山に伏し、砂漠にゆきく、水を求めてさまよひ死の冒険旅行の再現が多くの人をロマンと冒険心をかきたて、大きな感銘を与えました。

館歌に謳われた「海の内外陸の



「井上靖」シルクロードより

事務局だより

東京修猷会会員の皆さまの御健勝をお慶び申し上げます。現在事務局は、湖上貫之事務局長(昭和26年卒)中沢郁子(昭和29年卒)香崎温子(昭和33年卒)両書記の三名で、幹事会の決定に従って、皆さまの連絡と名簿の管理などを行っています。

また、二木会開催の会場運営、案内状発送、返信受取り、食事の注文などもあり、転居の通知等はその都度名簿を訂正整理したりもしています。

名簿の訂正は手間のかかるものですが、一昨年末にパソコンを導入して事務の合理化を図っています。パソコンは、最初は不馴れで、苦心のデータを「アップ」という間もなく消去したこともありました。最近では何とかスムーズにいくようになりました。

東京修猷会入会御希望の方は事務局(☎三五七七八四八)までお電話ください。会費振込用紙をお送りします。年会費は三千円で、毎月二木会の案内状をお送りいたします。

二木会の講師にお招きしたい方があれば、事務局までお知らせください。出来るだけ御希望に沿えるよう努力いたします。なお、二木会の案内状が毎月十通前後は転居先不明で戻ってくるのが残念です。

福岡やその他の地域から転入された方、また東京地域より転出される方は、ぜひ一報ください。学生さんたちも上京入学された折にはお知らせ下さい。

このしの総会担当学年(昭和38年卒)が、六月の総会で皆さまにお渡し出来るように、最新職業別名簿を作成中です。最近、当会とは無関係の某出版社などの名簿などがありますが、御注意ください。

二木会会員に通知したいことなどがありましたら、案内状に載せますので、前月の五日までにお申し込みください。事務局を出来るだけ活用していただくことにより、皆さまの交流の輪を広げ、今後の多方面

編集後記

の御活躍の基盤にしたいだけよう頑張りたいと思っています。64年度の会費納入用紙を同封致しますのでよろしく願ひします。中沢・香崎 記

四、五年前からの希望として温められた東京修猷会々報を創刊する事になり喜びでございますが、実際に動き出すには、永年の皆様からの大切な御預りを裂くのですから、俟約運営に付、予算との観点から始めた。まず会合場所困ったが、館友の法律事務所をお借りする事が出来本当に有難くスタッフ一同編集会議を重ねる。新年創刊のため挨拶号に終らない様にと、リラックとした学んだりの全員参加型となる。一面見出しは松尾会長の特筆を頂く事が出来記念すべき事になりました。日本にとどまらずドイツより聞える六光星の館歌が世界中を駆けめぐり同窓の活躍を期待するものです。心残りの点は多いのですが、心残りのお忙し中、原稿、広告をお願いしここに編集出来ました事を皆様に厚くお礼申し上げます。

編集長(副幹事長) 田端千弥子(S27卒) 編集はやり繰り、限られた紙面に殺到する原稿、編集長の田端千弥子さんは、その難しい問題を眼事にさばき、重責をまっとうされました。編集会議も終りに近づいた頃、創刊号に華が欲しいの音が上った時、西川一三氏快挙のテレビ放送のニュースが飛び込み、編集長の英断で早速取材、紙面の組替等久芳勝也氏がレイアウト一切を徹夜作業でやり上げ、更に、城弘印刷さんの御苦勞が支えて下さいました。

皆様の御高評をお待ち申し上げます。 編集委員 福田 廉(S27卒)

新しい世界のであいを求めて



よかトピア



アジア太平洋博覧会—福岡'89

会期/1989年3月17日(金)~9月3日(日)・17日間
会場/シーサイドももち(福岡市百道・地地区)

中国三大発見のひとつ
金棺銀槨の
本物がくる。

